

じゅっしゅうんけい
十種雲形

秋晴れの澄んだ高い空は、気持ちがよくて、つい見上げてしまいます。秋空に現れる雲の種類は多いのです。秋は、好天と雨天が交互に来て、空模様の変化が激しい季節でもあります。移動性高気圧に覆われた典型的な秋晴れでは、文字通り「雲一つない」青空もあります。

せつかく空を見上げたのだから、雲の観察をして楽しみましょう。鱗状うろこのもの、綿状わたのもの、筋すじのようなもの……。空一面に広がる見事なうろこ雲は、とくに秋を感じる雲です。

雲の形は、国際気象会議で「十種雲形」が決められています。これを知っていると、楽しい観天望氣かんてんぼうき（空を見て天気を予測すること）ができます。

十種は、雲の高さによって、上層雲、中層雲、下層雲の三つに分類されます。五〜一三kmの高さ（上層雲）に、巻雲けんうん（すじ雲）、巻積雲けんせきうん（うろこ雲）、いわし雲）、巻層雲けんそううん（うす雲）。二〜七kmの高さ（中層雲）に、高積雲こうせきうん（ひつじ雲、むら雲）、高層雲（おぼろ雲）、乱層雲（雨雲、雪雲）。二km以下（下層雲）に、層積雲せきうん（うね雲、曇り雲）、層雲（きり雲）、積雲（わた雲）、積乱雲（雷雲、入道雲）。ただ、積乱雲は雲の背が高く、上端は上層雲にまで届くことがあります。ぜひ図鑑などで写真を見て、実際の空にその雲を見つけてください。自然科学的な面白さを感じる人や、文学的に人生を思いながらご覧になる人もおられることでしょう。